



# 2024年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社  
コード番号 3271 URL <https://www.the-g.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日～2024年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	23,359	26.7	2,122	284.2	1,565		1,555	
2023年6月期第3四半期	18,441	0.1	552	31.4	65	80.2	65	82.9

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 1,556百万円 ( %) 2023年6月期第3四半期 55百万円 ( 81.5%)

1株当たり四半期純利益	
	円 銭
2024年6月期第3四半期	54.94
2023年6月期第3四半期	2.31

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第3四半期	44,876	6,849	15.3	241.97
2023年6月期	33,243	5,292	15.9	186.96

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 6,849百万円 2023年6月期 5,292百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		0.00		0.00	0.00
2024年6月期		0.00			
2024年6月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,025	36.2	1,519	31.1	2,884	84.1	2,498	43.0	88.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 合同会社京橋釣鐘を営業者とする匿名組合、 除外 2 社 (社名) 株式会社グローバル・エルシード 株式会社グローバル・キャスト

株式会社グローバル・エルシード及び株式会社グローバル・キャストは、2023年10月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年6月期3Q	28,306,000 株	2023年6月期	28,306,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年6月期3Q	76 株	2023年6月期	76 株
------------	------	----------	------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年6月期3Q	28,305,924 株	2023年6月期3Q	28,305,924 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年7月1日～2024年3月31日)における我が国経済は、正常化が進む社会活動に伴い、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果、インバウンド需要の持ち直し等により緩やかな回復傾向にあります。一方で、世界的な金融引締めや中国経済の動向、緊迫化する中東地域をめぐる情勢等による国内景気への影響が懸念されており、物価上昇や為替動向、市場の先行き動向には依然注視していく必要があります。

当社グループが属する不動産業界において、首都圏の分譲マンション市場は、供給戸数は2023年からやや減少傾向にありますが、価格が地価や建築費の高騰などを要因として高水準で推移する中、堅調な契約率を保っております。2023年4月～2024年3月(2023年度)の首都圏における供給戸数は26,798戸、平均価格は7,566万円(㎡単価115.1万円)、都区部においては平均価格が1億464万円(㎡単価161.1万円)となり最高値を更新しました(不動産経済研究所資料参照)。不動産投資市場は、2023年4月～12月における国内の不動産投資額が前年同期比の約40%増を記録し、円安と低金利を背景に好調に推移しております。

このような状況下当社グループでは、所有物件の開発、売却に努め分譲マンション3物件と収益物件12物件の売却引渡を行いました。また、首都圏を中心とした分譲及び収益物件用地の仕入れを強化しております。

ホテル業界におきましては、国内需要は活発に推移しており、訪日外国人観光客数は2024年3月において、300万人超となり新型コロナウイルス感染症拡大以前の2019年の同月比を上回るまで回復しております(観光庁調べ)。当社グループにおきましても、昨年春に営業再開いたしました施設の稼働も回復傾向に推移しております。また、京都ホテル案件2物件を売却しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高23,359百万円(前年同四半期比26.7%増)、営業利益2,122百万円(前年同四半期比284.2%増)、経常利益1,565百万円(前年同四半期は経常利益65百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,555百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益65百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### [分譲マンション事業]

分譲マンション事業におきましては、「ウィルローズ府中宮町」「ウィルローズ横浜鶴見」「ウィルローズ大宮Kan」等合計148戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高7,614百万円(前年同四半期は売上高一百万円)、営業利益971百万円(前年同四半期は営業損失217百万円)となりました。

#### [収益物件事業]

収益物件事業におきましては、「八丁堀Ⅲプロジェクト」、「大森プロジェクト」、「松濤プロジェクト」等、収益物件12物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高13,127百万円(前年同四半期比0.6%増)、営業利益1,653百万円(前年同四半期比14.4%減)となりました。

#### [販売代理事業]

販売代理事業におきましては、当社グループ開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都都区部48物件74戸、東京都下8物件78戸、神奈川県5物件54戸、埼玉県4物件45戸、千葉県4物件5戸、合計69物件256戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高838百万円(前年同四半期比102.0%増)、営業利益476百万円(前年同四半期比531.6%増)となりました。

#### [建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2024年3月31日現在のマンション管理戸数が3,981戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高367百万円(前年同四半期比4.6%増)、営業利益46百万円(前年同四半期比41.7%増)となりました。

#### [ホテル事業]

ホテル事業におきましては、京都におけるホテル運営及び京都プロジェクト2物件の引渡しなどを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高2,048百万円(前年同四半期比55.2%減)、営業利益311百万円(前年同四半期は営業損失535百万円)となりました。

#### [その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高7百万円(前年同四半期比87.7%減)、営業利益3百万円(前年同四半期は営業損失3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ11,632百万円増加し44,876百万円となりました。負債については前連結会計年度末から10,075百万円増加し38,027百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から1,556百万円増加し6,849百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、物件の仕入により仕掛販売用不動産が13,019百万円増加、物件の引渡により販売用不動産が1,807百万円減少したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が10,763百万円増加したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,555百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年8月10日に公表しました2024年6月期通期の連結業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、2024年5月8日に公表いたしました「連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,743,919	4,836,060
売掛金	62,394	65,737
販売用不動産	2,461,460	653,708
仕掛販売用不動産	23,636,398	36,656,250
前払費用	862,891	721,034
その他	467,693	287,081
流動資産合計	32,234,758	43,219,873
固定資産		
有形固定資産	59,382	68,510
無形固定資産	8,583	6,415
投資その他の資産		
投資有価証券	304,557	745,437
長期貸付金	326,048	335,281
繰延税金資産	194,185	391,515
その他	485,002	486,217
貸倒引当金	△368,937	△376,716
投資その他の資産合計	940,856	1,581,736
固定資産合計	1,008,822	1,656,662
資産合計	33,243,581	44,876,536
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	712,848	522,859
短期借入金	10,946,000	9,570,153
1年内返済予定の長期借入金	8,574,159	10,498,000
1年内償還予定の社債	100,000	272,000
未払金	566,271	918,601
未払法人税等	36,051	206,752
未払消費税等	757,239	187,080
前受金	1,033,450	630,428
賞与引当金	9,711	39,335
その他	240,914	191,246
流動負債合計	22,976,645	23,036,456
固定負債		
社債	1,740,000	1,588,000
長期借入金	3,164,319	13,378,320
繰延税金負債	5,966	—
その他	64,459	24,576
固定負債合計	4,974,744	14,990,896
負債合計	27,951,389	38,027,353

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,924,376	1,924,376
資本剰余金	2,870,605	2,870,605
利益剰余金	647,098	2,202,133
自己株式	△33	△33
株主資本合計	5,442,046	6,997,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	657	1,522
為替換算調整勘定	△150,511	△149,421
その他の包括利益累計額合計	△149,854	△147,899
純資産合計	5,292,191	6,849,182
負債純資産合計	33,243,581	44,876,536

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	18,441,637	23,359,098
売上原価	15,379,771	18,410,435
売上総利益	3,061,865	4,948,663
販売費及び一般管理費	2,509,440	2,826,064
営業利益	552,424	2,122,598
営業外収益		
受取利息	2,276	75
受取手数料	4,891	14,300
解約精算金	4,119	9,498
受取地代家賃	13,274	46,988
貸倒引当金戻入額	54,864	1,350
雇用調整助成金	1,495	—
その他	20,337	5,891
営業外収益合計	101,260	78,102
営業外費用		
支払利息	474,147	405,991
支払手数料	93,374	220,890
社債発行費	19,687	2,300
その他	1,374	6,462
営業外費用合計	588,583	635,645
経常利益	65,102	1,565,055
特別利益		
固定資産売却益	100,000	909
受取保険金	80,539	—
特別利益合計	180,539	909
特別損失		
固定資産除売却損	576	0
役員退職慰労金	100,000	—
特別損失合計	100,576	0
税金等調整前四半期純利益	145,064	1,565,964
法人税、住民税及び事業税	39,252	214,240
法人税等調整額	40,503	△203,310
法人税等合計	79,756	10,929
四半期純利益	65,308	1,555,035
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,308	1,555,035

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	65,308	1,555,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	182	865
為替換算調整勘定	△10,278	1,089
その他の包括利益合計	△10,096	1,955
四半期包括利益	55,211	1,556,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,211	1,556,991

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

	報告セグメント					
	分譲マンション事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財及びサービス	—	9,468,998	415,097	—	4,564,737	14,448,833
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	56,271	—	351,432	—	407,703
顧客との契約から生じる収益	—	9,525,269	415,097	351,432	4,564,737	14,856,537
その他の収益	—	3,517,107	—	—	9,197	3,526,304
外部顧客への売上高	—	13,042,376	415,097	351,432	4,573,935	18,382,841
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	—	13,042,376	415,097	351,432	4,573,935	18,382,841
セグメント利益又は損失(△)	△217,541	1,931,215	75,417	33,131	△535,669	1,286,554

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	3,335	14,452,168	—	14,452,168
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	407,703	—	407,703
顧客との契約から生じる収益	3,335	14,859,872	—	14,859,872
その他の収益	55,460	3,581,764	—	3,581,764
外部顧客への売上高	58,795	18,441,637	—	18,441,637
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	58,795	18,441,637	—	18,441,637
セグメント利益又は損失(△)	△3,659	1,282,894	△730,470	552,424

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△730,470千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△730,470千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

	報告セグメント					
	分譲マンション事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財及びサービス	7,614,478	8,121,356	838,454	—	2,037,044	18,611,334
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	58,276	—	367,462	—	425,739
顧客との契約から生じる収益	7,614,478	8,179,633	838,454	367,462	2,037,044	19,037,073
その他の収益	—	4,947,393	—	—	11,479	4,958,872
外部顧客への売上高	7,614,478	13,127,027	194,398	367,462	2,048,523	23,351,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	644,056	—	—	644,056
計	7,614,478	13,127,027	838,454	367,462	2,048,523	23,995,946
セグメント利益	971,168	1,653,116	476,345	46,956	311,849	3,459,436

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	7,208	18,618,542	△644,056	17,974,486
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	425,739	—	425,739
顧客との契約から生じる収益	7,208	19,044,282	△644,056	18,400,226
その他の収益	—	4,958,872	—	4,958,872
外部顧客への売上高	7,208	23,359,098	—	23,359,098
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	644,056	△644,056	—
計	7,208	24,003,154	△644,056	23,359,098
セグメント利益	3,323	3,462,760	△1,340,161	2,122,598

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△1,340,161千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△1,340,161千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準（企業会計基準第13号 2007年3月30日）」に基づく賃貸収入及び「特別目的会社を利用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針（会計制度委員会報告第15号 2014年11月4日）」に基づく不動産（不動産信託受益権を含む）の売却収入等が含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、合同会社京橋釣鐘を営業者とする匿名組合に対し匿名組合出資を行い連結の

範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「分譲マンション事業」のセグメント資産が5,040,137千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。